

# 岩沼出張所つうしん

第 39 号  
平成 16 年 12 月 15 日  
仙台河川国道事務所 岩沼出張所  
岩沼市館下 1 丁目 2 - 9  
TEL 0 2 2 3 - 2 2 - 2 8 0 1

## 亘理町で「防災マップ」を作成

亘理町では、今後、高い確率で発生が予想される「宮城県沖地震災害」と共に、それに伴う「津波災害」や「火災」、「風水害」や「土砂災害」に備えるための「防災マップ」を作成し、各戸に配付しました。

この「防災マップ」は、大規模な災害の被害を最小限に止めるための「自主防災」(自分の身は自分で守る)が基本となっています。この「防災マップ」を活用して家族の中で話し合い、わが家の防災対策を講ずると共に、1年に1回は防災訓練等を実施して、災害時に戸惑わない行動ができるよう、備えておくことが大切になります。

今後は、「風水害」の備えをレベルアップして、町民の代表を交えた委員会等を設立して、早期に「洪水ハザードマップ」の作成に挑戦してもらいたいと思います。



亘理町「防災マップ」

## 岩沼市庁舎前の「河川情報塔」を撤去

岩沼市役所庁舎前に設置して、市民に親しまれてきました「河川情報塔」を11月27～28日と12月4～5日の4日間で、撤去いたしました。

この塔は、平成14年7月の台風6号の出水時に故障し、修理を試みましたが、交換部品の製造打ち切りのアクシデントにより、岩沼市役所と協議の上、あえなく取り壊しとなりました。



河川情報塔撤去前

河川情報塔撤去後

(さんのみよう)

## 今度、上屋が設置される三名生排水樋管

柴田町下名生(しものみょう)地内に位置する三名生(さんのみよう)排水樋管は、漢字の読み方から戸惑う樋管であります。背後に「三名生排水機場」が連なっており、樋管には多くのゴミ等が流れてきます。そのゴミを樋管操作員の荒井さんと大沼さんが、特長靴を履いて水路に入り、



荒井 瑋雄さん 大沼 勝弘さん ゲートリフター開閉・三名生排水樋管

り、掃除しています。  
今年度、三名生排水樋管の操作台には、五間堀排水樋管と共に上屋が設置されます。荒井さんも大沼さんも「上屋が出来れば、ゲートリフターの持ち運びが楽になり、助かります。出来れば、電動化にしてもらいたい。」と言いますが、事務所の答えは「電動化の計画はありません。」とあっけない。今年の操作員講習会でも紹介された「大沼 勝弘」さんは、今年の4月に採用されたニューフェイスです。年齢は内緒ですが、これからもどうぞよろしくお願い致します。

# 岩沼出張所のしごと (管理係編)

## 〔亘理町逢隈田沢地内 の 阿武隈大堰管理分室内〕

岩沼出張所には、岩沼市館下の出張所庁舎の他に分室が一つあります。位置は、亘理町逢隈田沢の阿武隈川右岸・堤内地にあり、「阿武隈大堰の管理」を担当しています。また、出張所庁舎が建つまでの間、「仙台海岸出張所」が、分室を間借りしています。

阿武隈大堰管理分室では、堰上流の取水位を確保するとともに阿武隈川の洪水の安全な疎通を図るために、堰の操作を実施します。堰上流の利水施設としては、岩沼市や亘理町の上水道取水口、亘理土地改良区のかんがい用水を取水する岩地蔵取水口、日本製紙(旧・大昭和パルプ株)の工業用水取水口等があります。

阿武隈大堰上流の流量が、毎秒

400立方メートルを超えれば洪水警戒体制にはいり、大きな出水になれば徹夜で堰の操作に当たります。今年も台風等の接近があり、10回の洪水警戒体制を数えました。

阿武隈大堰の管理と堰関係の工事施工監督を担当するのが、岩沼出張所の管理係です。大谷係長を筆頭に次の方々で、阿武隈大堰を守っています。

一般事務の補佐役として、非常勤職員の三浦さんが笑顔を振りまいて、分室のまとめ役を担っています。仕事を離れれば花婿募集中の亘理町の住人です。また、分室内の清掃を担当しているのが菊地香代さんで、週に1回・1日であの広い大堰管理分室を清潔に保ってくれています。

大堰のゲート操作の先生は宮野賢一さんで、大堰の建設当時は仙台工事事務所の機械課の職員で、退職後に大堰に関する知識と機械・電気関係の経験を買われ、現在の堰管理業務を担当してもらっています。機械課や電気通信課から大変頼りにされている方です。同じく、堰管理業務として、五島賢治さんが担当しています。五島さんは環境の保護等にも興味が深く、大堰周辺の植生等もライフワークとして研究しています。

阿武隈大堰は、常に堰の上流からの取水を確保する使命があり、分室には水文情報やゲート管理のコンピューターデータ等の情報があります。その情報に異常が出れば、通報してくれる情報連絡員が、菊地さん、佐藤さん、関さんの3人です。夜間や祝祭日等の閉庁日に業務を担当し、気象情報や機器の異常等を監視、異常が確認された場合は、速やかに大谷係長に連絡します。このように大堰管理分室では、夜間や休日も含め、いろいろな人が、堰の管理に携わっています。

### あとかき

12月も半ばに入り押し迫ってまいりましたが、新しい年を迎える準備はもうお済みでしょうか。筆者は毎年の後悔どおり、まだ、年賀状の心配をしているところです。

ところで、ニュース等でご存じかとは思いますが、平成17年度以降5年をメドに各市町村において「洪水ハザードマップ」の作成・公表を義務づける「豪雨災害対策緊急アクションプラン」が策定されました。これは、今年の一連の深刻な豪雨災害等の自然災害に対して、安全で安心な社会を形成する必要から、次期通常国会に向けて、水防法の改正をめざそうとする動きです。



大谷 係長



三浦 照美



宮野 賢一



五島 賢治



菊地 正雄



佐藤 喜一



関 恵



菊地 香代